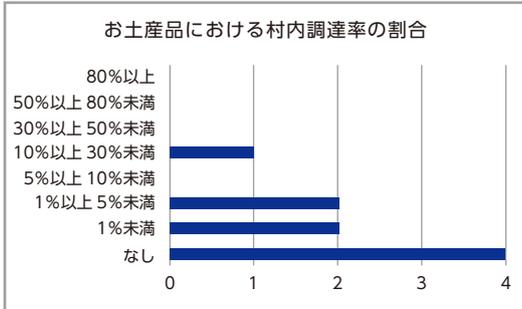


恩納村ローカル認証とは、物にとどまらず、すべての商品について恩納村の特色であるサンゴ礁の海を積極的に打ち出し、「環境と経済」を連動させた恩納村を象徴する恩納ブランドを確立する仕組みです。

恩納村の課題

恩納村の特産品は、実は観光客の方々にその魅力がアピールされていないんです。



(平成 29 年『恩納村第 3 次観光振興計画』より抜粋)

- 恩納村の多くの観光事業者で、恩納村の特産品がお土産として置かれていません。多くの観光客が訪れていますが、特産品を知ってもらう、買ってもらう機会が少ないのです。
- 特産品の魅力発見及び村がおすみつきをしているという新たな価値をつけて村内外に広めていくことが求められています。

恩納村には素晴らしいものがたくさんあります！

恩納村の良いもの発掘▶有機栽培の農作物

有機農法でパッションフルーツやアテモヤを栽培する照屋和江さん  
 (てるてるファーム)



農業を始めて間もない頃に発生した虫に有効な薬が無い事を知り、農薬に頼らなくとも続けて行ける農業を模索しはじめました。害虫発生を抑える環境管理や虫の生態を利用した天敵農法を取り入れ、現在では有機 JAS 認証を取得するまでに有機農業を進めて参りました。

恩納村は、「サンゴの村宣言」をしています。そして、海だけでなく陸にも、日々の忙しい生活の中で環境に配慮した様々な取り組みをしている農家さんがたくさんいらっしゃいます。SDGs 未来都市になったことを機に、そういった方々の取り組みにスポットライトを当て、観光業などとも結びついて付加価値として還元されるような仕組みができると良いと考えています。

恩納村の解決策▶ローカル認証

恩納村では、陸や海的环境や人々の生活に配慮したたくさんの特産物やサービスがあり、SDGs の普及とともに増えていくと考えられます。これらの特産品のうち、村が定める一定の要件にあてはまったものに対して、ローカル認証を付与しブランドの向上を図っていきます。2020 年度は作業部会で認証の方向性を検討しましたので、2021 年度は詳細のルール作りを進め、数年以内の実現を目指します。

ローカル認証の付与

商品の製造工程の見える化  
 安心・安全の保証

商品の観光客へのプロモーション・  
 ブランド化・高付加価値化



「恩納村が太鼓判を押した、村が推奨する商品です」という安心安全はもちろん、環境にも配慮した恩納村にしかない恩納村だけの特別なおすみつき商品(ブランド)という事だね！

